

④-2 評価票: 胃ろう 又は 腸ろう による 経管栄養 (半固形)

利用者

受講者

実施手順	評価項目		評価				
	回数		演習	()回目	()回目	()回目	()回目
	月 日		/	/	/	/	
	時 間		:	:	:	:	
実施準備	1	流水と石けんで、手洗いをする。					
	2	医師の指示書を確認する。					
	3	対象者本人・家族もしくは記録にて、体調を確認する。					
実施	4	対象者本人から注入の依頼を受ける。あるいは、対象者の意思を確認する。					
	5	必要物品、栄養剤を用意する。 カテーテルチップ型シリンジを使う場合は、半固形栄養剤をシリンジで吸っておく。					
	6	体位を調整する。					
	7	胃ろうチューブの破損や抜けがないか固定の位置を目視で観察する。 胃ろう周囲の観察を行う。					
	8	胃ろうチューブの先端をアルコール綿などで拭き、胃ろうチューブと半固形栄養剤のバッグないし、半固形栄養剤を吸ったカテーテルチップ型シリンジをつなぐ。					
	9	注入を開始することを対象者に伝え、半固形栄養剤のバッグないしカテーテルチップ型シリンジの内筒を、適切な圧で押ししながら注入する。必要時は加圧バッグを使用する。					
	10	注入中に、対象者に異常がないか、確認する。					
	11	注入が終了したら、カテーテルチップ型シリンジに白湯を吸い、胃ろうチューブ内に白湯を流す。					
	12	終了後しばらくは上体を挙上したまま、安楽な姿勢を保つ。					
	13	体位を整える。 必要時は体位交換を再開する。					
報告	14	指導看護師に対し、対象者の状態等を報告する。 ヒヤリ・ハット、アクシデントがあれば、あわせて報告する。					
片付け	15	使用物品の後片付けを行う。					
記録	16	実施記録を書く。 ヒヤリハットがあれば、業務の後に記録する。					
アの個数 計							
評価者(指導看護師)サイン							